

学校法人有朋学園  
東日本高等学院入学式祝辞

拓(ひら)け無限の可能性  
——高校生活スタートにあたって——

開倫塾 塾長 林 明夫

1. はじめに

新入生の皆様，保護者の皆様，新入生の母校の先生方，東日本高等学院にご入学おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

私は，当学の評議員を務めさせて頂いております。栃木県足利市から参りました林と申します。理事長である渡辺剛先生，校長の神野先生と15年以上にわたり学習塾の経営や民間での教育について語り合ってきた関係で，評議員を仰せつかっているものと思われま

2. 人生において高等学校の時代に何を学ぶべきか—「基礎学力」を身につけよう—

教育には4つの段階があると考えられます。

- )「小学校」が担当する「初等教育」。
- )「中学校」と「高等学校」が担当する「中等教育」。「中学校」での教育を「前期中等教育」。「高等学校」での教育を「後期中等教育」といいます。みなさんは今日から高等学校の生徒なので、「後期中等教育」をお受けになるわけです。
- )短大，専門学校，大学，大学院での教育を「高等教育」(Higher Education)といいます。
- )学校を出てから生涯にわたっての教育を「生涯教育」(Life Long Education)といいます。

皆様が高等学校を卒業した後とられる進路は専門学校，短大，4年制大学当の「高等教育機関」に進学するか，そのまま企業に「就職」なさるかそれ以外の生き方をするか，この3つしかありません。

- )ところで，大衆化され高校卒業後70%の進路は専門学校，短大，4年制大学や大学院の現在の最大の問題は従来通りの「カリキュラム」つまり「授業」や「研究活動」についていけない人がたくさん存在することです。
- )又，企業等に就職なさる人の最大の問題は学校の勉強だけでは使いものにならない高校卒業生がたくさん存在するという事です。
- )高校卒業生の約半数が進学する4年制大学の学生の「学力不足」問題は著しく社会問題化しつつあります。

そこで，皆様が考えなくてはならないことは「進学するにせよ就職するにせよ，高校生時代にしなければならぬことは進学を希望する高等教育機関での，教育に耐えられるだけの基礎学力，就職する企業等での業務をマスターすることに耐えられるだけの基礎学力を高等学校の間に身に付けてしまうこと」であります。

ただし、高校卒業後を見据えて基礎学力を身に付けるためには、勉強に対する志(こころざし)、強い意志、強い動機付けが必要となります。学習に対する高い志(こころざし)、強力なターボエンジンを取り付けるにはどうしたらよいのでしょうか。

### 3. ものごとを幅広い視野から見る癖をつけることにより、自分の生き方を考え、勉強する意味を見つけよう。 - 3つの試み -

勉強する目的を明確にするには、できるだけ物事を幅広い見地から見る習慣を身に付けることをおすすめします。そのためには、次のような3つの方法があります。

新聞を1日1時間1面から読む習慣を1日も早く身に付けること。

)日本という国の素晴らしさの1つは、新聞が毎朝、毎夕方家庭に配達されることでもあります。(夕刊が配達されない場所もありますが.....)日本には日本国憲法条例で保証され取材の自由を含む言論、出版の自由があります。その結果、権力をもつ人以外の考えもどんどん記事として紹介されています。地元である福島県の各市町村のできごとから始まり、日本や世界の出来事が数多く紹介されています。

)新聞を1時間以上読むことで、目を地元の市町村、都道府県、日本のみならずアジアや世界に広げることができます。新聞を丹念に追いかけることを通して世の中で何がどのように問題となっているかを知って下さい。

)実用英語検定の2級に合格したら、英字新聞を毎日1時間内容のよく解っている記事だけでも辞書を引かずに読む習慣を身に付けて下さい。何年か忍耐強く英字新聞を1日1時間読むことにより日本語の新聞とは異なった切り口で物事を見る目が養えます。

)NHK始め日本のテレビやラジオのニュース解説番組は世界でも第1級のものばかりです。文学中心の新聞を通し深く考える習慣を身に付けると同時に、テレビやラジオの音声や映像を通して物事の一面を見る習慣も是非この3年間で身に付けて下さい。

科学技術の進歩の歴史と現状を知るチャンスをたくさん持つよう心掛けること。

)市町村や県、大学や研究所ではたくさんの科学技術の歴史や現状についての催しを行っています。自分自身のアンテナを高く張り巡らしているといくらかでも見つかります。

)新聞、テレビ、ラジオ、市町村や県の公報、各施設、研究所、大学などのインターネットのホームページなどは情報の宝庫といえます。どんどん活用しましょう。

今皆様が住んでいる市町村や都道府県、もしできれば日本、アジアの素晴らしい歴史や文化、芸術産業をできるだけ公平に評価した上で素晴らしいものは素晴らしいと認め大切にすること。自分を生み、育て、育ててくれた自然や環境、地域の歴史、文化、芸術、産業を大切にさせて頂きたく思います。言葉や生活習慣(Way of life)、習俗、伝統芸能も是非大切にして下さい。

)皆様の地元である福島県には医療の分野で世界的な貢献をなされた野口英世博士、芸術や文学の面で日本国中を感動させ続けている高村光太郎先生、第二次世界大戦の中で、日米開戦を阻止すべく立ち寄った朝河幹一(あかさわかんいち)博士始め誇るべき方々がきら星のごとくいらっしやいます。この人達の精神を引き継いで自分たちはあるのだと心から思ってください。

私の新入生の皆様へのご提案は、以上の3つ、つまり

- 1) 新聞を毎日1時間読む習慣を1日も早く身に付けること。
- 2) 科学技術の新法の歴史と現状を知るチャンスをたくさん持つよう心掛けること。
- 3) 地元や日本、アジアの自然、歴史、文化芸術の素晴らしさを知ること。これらを確実に丁寧に行うことにより「自ら学ぶ力をこの高校で学ぶ間に身に付けることであります。」

#### 4. おわりに

物質のみ追わないこと、精神の高貴さ、気高さ、精神を磨き、自然とふれあうことを大切にしてください。

人生は考えようによっては長いものです。けして焦らないこと、くよくよ悩まないこと。

学ぶときは遡及学習をおすすめします。わからないことがあればわかるところまでさかのぼってゆっくり学習することをためらわないでください。

在校生の皆様自分が入学したときのことを考え、あたたかく新入生をお迎えください。

教職員の皆様、生徒を多様性を引き延ばしてあげてください。私はコーチングによりエンパワメント(Empowerment)という言葉が好きです。どうか先生方におかれましては良いコーチになり在学中に世の中に出てどんな場合にも耐えられる力をつけてあげてください。

最後に保護者の皆様へ一言。お子様は卒業後、親元を離れることが多いと思われます。作戦を練り卒業までにご家庭でお子様に伝えられることこの在学期間中に伝えて頂きたいお願い申し上げます。

この東日本高等学院は日本でも最も面倒見のよい高校と私は確信致します。どうかご安心して高校生活を満喫してください。Enjoy High School Life !

5月1日記